



今年も  
おいしい水を

水源地近くの社で行われた水神祭

四月十九日に、下畑水源地・宗光寺水源地で水神祭が行われ、上下水道工業会組合員や、望月市長、市議、地元関係者ら約三十人が出席して、祝詞奏上や玉ぐし奉てんなどが行われました。水神祭は、豊かな水の恵みへの感謝と水の安定供給、水道工事の安全などを祈願して、毎年執り行われるものです。蛇口をひねれば当たり前に出てくる水ですが、皆さんも改めて水のありがたみに感謝したいですね。



『少林少女』  
クランクイン

原木駅で柴咲さんの降車シーンを撮影

フジテレビ・プロデューサーの亀山千広さん(蕪山高校卒)と『少林サッカー』のチャウ・シンチーさんの製作総指揮による新作映画『少林少女』のロケが、4月25日に始まりました。伊豆箱根鉄道原木駅を舞台に、主演の柴咲コウさんが電車から降りるシーンなどの撮影が行われました。『少林少女』は、亀山さんと『踊る大捜査線』シリーズのスタッフが手がけるアクションコメディ大作。映画全体の半分以上を占めるという伊豆地区での撮影は、市内をはじめ、伊豆市、三島市などで行われます。公開は2008年の予定。広報いずのくにでは、今後も市内での撮影を追跡取材していきます。乞うご期待!



手作り甲冑隊  
参上!

5月3日に神奈川県小田原市で、第43回小田原北條五代祭りが行われました。このお祭りは小田原城を居城とした北条氏をしのぶもので、北条早雲が縁で旧蕪山町のときから参加しており、今年は望月市長、望月観光協会長、市職員、観光協会職員など約20人が参加しました。市内を約2.7メートル歩くパレードには、手作り甲冑を着用した市職員、観光協会職員が参加し、伊豆の国市をPRしました。また小田原城内の銅門広場では、小田原城名物市が開かれ、イチゴやイチゴジャム、地ビールを販売しました。

PHOTOぎやらり〜

女将と現在修業中の若女将



命名  
『女将さんのバラ園』

「お母さんと大事に作っている庭を見に来てください。」そんなお便りをいただいて訪れた旅館一句石の小林さん宅(中)。小林さんは昔から花が好きで、鉢植えや寄せ植えをしていたそうです。4年前から本格的に作り始めたという700坪ほどの庭には、色や香り、高低なども考えて配置を決めた250種類以上のバラや、季節の花々が咲き乱れていました。取材に訪れた5月初めには、多くのつぼみが、出番を待ちかねているようでした。例年5月中旬から6月中旬が見ごろで、だれでも自由に観賞できます。市内の隠れたバラの名所、一度訪ねてみては。

イチゴの恵みに感謝・・・

五月五日、江間・伊豆長岡両いちご狩りセンターで、いちご祭りが行われました。これは、市を代表する農産物である『イチゴ』を観光客や市民に広くPRするためのイベントで、毎年行っているものです。当日は晴天にも恵まれ、いちご狩りのほか、ジャムづくり体験、動物ふれあい広場、魚のつかみ取り、餅投げ大会が行われ、市内外から多くの人が来場し、ゴールデンウィークのひとつときを満喫していました。



「マス取れたよー」

長蛇の列ができた無料配布



春の祭典  
にぎわいました

4月28日、『春の祭典〜グリーンフェスタ&ぼかしまつり〜』を蕪山時代劇場ひだまり広場で行いました。昨年までの『グリーンフェスタ』と『EMぼかしで花と野菜のまつり』を一体化させ、春の祭典として模様替え。花壇作りコンテストや花と緑の講演会、市の花『すみれ』と『あやめ』・市の木『榎』の無料配布など、多彩な催しを行い、多くの来場者でにぎわいました。また市の花・木の制定を記念して、市の木『榎』の記念植樹も行い、広場の一角に榎2本を植えました。



心配された雨も上がりました



市長へ目録を授与する望月協会長(右)と、寄贈された「青パト」

パトロール  
強化

4月24日、市役所伊豆長岡庁舎駐車場で防犯パトロール車寄贈式が行われました。今回寄贈された青色回転灯付き防犯パトロール車(=通称・青パト)2台は、長く伊豆長岡地区の防犯活動を支えてきた伊豆長岡防犯協会から、昨年8月の解散を機に、市内の治安向上にと市に寄附されたものです。式終了後、寄贈された防犯パトロール車で、市職員が市内の防犯パトロールを行いました。この2台を含め、市が所有する『青パト』は5台となりました。市では今後も、市民の皆さんとの協同により市内の防犯活動に努め、安全で安心なまちづくりを推進していきます。